

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

# 10代のサッカー推計実施人口は約237万人 2001年の調査から年1回以上の実施率は2割超を維持

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利 以下：SSF）は、2年ごとにわが国の幼児から青少年までのスポーツの「実施頻度」や「実施時間」、「運動強度」などを調査し、現状を明らかにしてきました。

最新の2025年調査（「子ども・青少年のスポーツライフ・データ2025」は2026年4月9日ご案内済）では、10代の年1回以上・サッカー実施率は22.1%、推計実施人口は237万人、週1回以上の実施率は12.4%、推計人口は133万人となりました。

※サッカー実施：学校の授業や行事以外でサッカーを行った（部活動、習いごと、学校での休み時間等は含む）

## 調査結果のポイント

1. 年1回以上のサッカー実施率：全体22.1%、男子35.8%、女子8.0%
2. 年1回以上のサッカー推計実施人口：全体237万人、男子197万人、女子42万人
3. 年代別の実施率：小学生年代（10,11歳）が32.1%と最多
4. 週1回以上のサッカー実施率：全体12.4%、男子22.0%、女子2.5%
5. 週1回以上のサッカー推計実施人口：全体133万人、男子121万人、女子13万人

## 【主な調査結果】

### ■年1回以上の「サッカー」推計人口・実施率の推移（2001～2025年）：全体・性別（10～19歳）

2025年の年1回以上の実施率は全体22.1%、男子35.8%、女子8.0%であった。年次推移をみると、全体では調査開始の2001年24.7%から2013年には31.1%まで増加し、その後2017年までは横ばいで推移した。2019年以降は減少傾向が続くものの、すべての調査年で20%以上を維持している。

性別にみると、男子は2001年から2013年にかけてゆるやかな増加傾向にあったが、2015年以降減少に転じ、2025年は35.8%と2023年の40.9%から5.1ポイント減となった。女子の実施率は2017年の12.0%をピークにゆるやかな減少傾向である。

サッカー実施人口は推計237万人であり、2001年と比較すると減少している。男子は2001年の290万人から93万人減少し、2025年は197万人、女子は2001年の48万人から6万人減少し、2025年は42万人と推計される。

## 【本件に関するお問合せ先】

笹川スポーツ財団 広報担当 清水・斎藤  
TEL：03-6229-5300 info@ssf.or.jp

**表 1. 年 1 回以上のサッカー推計人口・実施率の推移（2001～2025 年）：全体・性別（10～19 歳）**

		2001	2005	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	実施率 (%)	24.7	29.0	26.4	26.9	31.1	29.4	29.9	28.8	26.4	25.7	22.1
	推計人口 (万人)	339	373	321	323	371	348	347	328	295	281	237
男子	実施率 (%)	41.3	46.4	44.4	45.1	49.2	48.3	46.1	44.3	41.4	40.9	35.8
	推計人口 (万人)	290	305	276	277	300	293	274	258	237	229	197
女子	実施率 (%)	7.1	11.8	8.2	8.4	11.2	10.1	12.0	11.7	11.0	9.4	8.0
	推計人口 (万人)	48	74	49	49	65	58	68	65	60	50	42

注 1) 推計人口は住民基本台帳の 10 代人口 (人) に実施率 (%) を乗じて算出

注 2) 推計値を算出する際に端数が発生するため、全体の人口と男子・女子を合計した人口は必ずしも一致しない  
 笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

**■年 1 回以上のサッカー実施率の推移（2001～2025 年）：性別・年代別（10～19 歳）**

年代別の実施率をみると、2025 年の実施率は小学生年代 (10,11 歳) が 32.1% と最も高く、中学生年代 (12～14 歳) 22.2%、高校生年代 (15～17 歳) 17.5%、大学生年代 (18,19 歳) 11.0% と続く。

性別・年代別では、男子・小学生年代の実施率がいずれの調査年度においてもほかの年代より高い。女子はほとんどの調査年度において小学生年代の実施率が高く、年代が上がるにつれて実施率は下がる。サッカーの実施率は男女差が大きく、2025 年の小学生年代では男子が女子を 36.2 ポイント上回り、中学生年代以上でも 20～30 ポイント程度の差がみられる。

**表 2. 年 1 回以上のサッカー実施率の推移（2001～2025 年）：性別・年代別（10～19 歳） (%)**

		2001	2005	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	小学生年代 (10,11歳)	36.6	36.4	39.0	40.4	53.6	47.9	39.2	40.2	35.0	41.0	32.1
	中学生年代 (12～14歳)	27.1	33.9	31.1	31.4	33.3	36.1	34.0	31.1	30.7	24.9	22.2
	高校生年代 (15～17歳)	18.9	24.8	20.9	23.3	26.1	23.1	22.7	22.5	21.8	16.1	17.5
	大学生年代 (18,19歳)	20.3	18.8	16.3	17.2	14.1	17.1	17.1	16.0	14.2	16.0	11.0
男子	小学生年代 (10,11歳)	57.8	57.4	65.3	64.5	73.0	74.6	58.9	58.2	56.3	61.7	49.4
	中学生年代 (12～14歳)	43.9	50.4	50.5	51.4	54.9	53.8	49.6	47.8	44.7	42.4	36.5
	高校生年代 (15～17歳)	33.2	41.7	35.3	40.1	43.4	39.1	36.5	37.1	35.4	26.2	29.3
	大学生年代 (18,19歳)	37.4	34.6	31.4	30.9	24.7	34.5	29.3	27.3	21.2	25.0	30.0
女子	小学生年代 (10,11歳)	16.4	13.4	14.4	13.0	30.1	22.6	17.2	21.4	11.8	17.5	13.2
	中学生年代 (12～14歳)	9.3	18.7	11.4	12.9	9.5	13.6	14.5	11.4	16.3	6.4	7.0
	高校生年代 (15～17歳)	3.6	8.7	5.3	5.7	7.6	6.5	8.3	6.6	8.4	6.7	5.8
	大学生年代 (18,19歳)	0.8	2.6	2.0	3.9	3.4	3.5	4.2	3.6	7.3	4.8	3.7

笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

**■週 1 回以上のサッカー推計人口・実施率の推移（2001～2025 年）：全体・性別（10～19 歳）**

2025 年の週 1 回以上の実施率は、全体 12.4%、男子 22.0%、女子 2.5%であった。性別の年次推移をみると、男子は 2001 年から 2013 年にかけて増加し、その後 2019 年までは 20%台後半で横ばいに推移した。2019 年以降は減少傾向である。女子の実施率は 2001 年の 1.4%からゆるやかに増加を続け、2013 年以降は 3%程度の横ばい傾向が続いている。

推計人口は、全体 133 万人、男子 121 万人、女子 13 万人であった。2001 年以降、定期的にサッカーを実施する層は 120 万人以上を維持している。

**表 3. 週 1 回以上のサッカー実施率の推移（2001～2025 年）：全体・性別（10～19 歳）**

		2001	2005	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	実施率 (%)	9.2	13.5	13.7	13.4	16.2	14.9	16.2	16.7	13.6	13.9	12.4
	推計人口 (万人)	126	174	166	161	193	176	188	190	152	152	133
男子	実施率 (%)	16.6	25.3	25.3	24.9	28.5	27.2	28.0	29.1	24.0	24.6	22.0
	推計人口 (万人)	117	166	157	153	174	165	166	170	137	138	121
女子	実施率 (%)	1.4	2.0	1.9	1.8	2.8	2.4	3.0	3.0	3.0	2.4	2.5
	推計人口 (万人)	9	13	11	11	16	14	17	17	16	13	13

注 1) 推計人口は住民基本台帳の 10 代人口 (人) に実施率 (%) を乗じて算出

注 2) 推計値を算出する際に端数が発生するため、全体の人口と男子・女子を合計した人口は必ずしも一致しない  
 笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2001～2025) より作成

**【「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2025」調査概要】**

**調査項目：**運動・スポーツ実施状況、運動・スポーツ施設、スポーツクラブ・運動部、習いごと、スポーツ観戦、スポーツボランティア、好きなスポーツ選手、健康認識・生活習慣、身体活動、個人属性 等

**調査対象：**全国の市区町村に在住する 4～11 歳・2,400 人／12～21 歳・3,000 人

**調査方法：**訪問留置法による質問紙調査 (4～11 歳は個別聴取法併用)

**有効回収数 (率)：**4～11 歳・1,320 (55.0%) / 12～21 歳・1,438 (47.9%)

**調査時期：**2025 年 6 月 28 日～7 月 23 日

※「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2025」は 2026 年 4 月 9 日ご案内済